



1.リビングの壁は、愛着も増す見事なハンドメイド。「アメリカの職人の手仕事を想像してつくりました」(ご主人)。2.板を釘張りにした外壁が印象的な玄関まわり。ところどころに、こだわりのアメリカンスタイルを取り入れた。3.開放的なリビングへと繋がる玄関ホール。壁にはニッチを設け、お気に入りの雑貨をディスプレイしている。4.ビンテージミックスのしゃれたスタイル。倉庫の天井のように梁を現したゆとりのリビングは、K邸のハイライト。5.「家族でごろりと寝転べる空間が欲しかったので」(奥様)と、リビングの一角に畳のコーナーをしつらえた。6.「リビングに面した部分にはデッキをつくる予定です」(ご主人)。豪雪地帯にふさわしい高気密・高断熱の住まい。7.上部の窓から安定した光が届くご夫婦の寝室。大容量のクロゼットを設け、シンプルな暮らしを実現している。

手づくりでビンテージ感を演出 物語を紡ぐブルックリンスタイル

絶妙なビンテージ感が印象的なT邸。レンガ造りに見えるリビングの壁は、塗装業に携わること主人のハンドメイド。得意なモルタル造型の技術を最大限に生かしています。「憧れはブルックリンスタイル。かつて誰かが歴史を紡いだ空間に、新たな命を吹き込むような雰囲気を目指しました」(ご主人)。さらに、使い勝手を重視したアイランドキッチンの天板には、ご主人の実家にあった座卓を再利用。側面には流木をあしらった、味のあふる空間を完成させました。

ゆとりの平屋建ては、玄関から左手にLDK、右手に寝室をはじめとするプライベート空間を配置。「平屋だと管理しやすくモノの移動もラクラク。光と風を存分に取り込む快適さも気に入っています」(奥様)。

理想をカタチに。
デザイン住宅

My home in Niigata

No. 000

株式会社トピアホーム
南魚沼市T邸

DATA

家族構成：夫婦+子ども1人
竣工：2016年5月 構造：木造軸組工法
延床面積：84.67㎡(25.56坪) 1F 84.67㎡(25.56坪)
設計・施工：株式会社トピアホーム
※建築主様のご要望で総工費・平面図は省きます。

この家を建てた企業の情報はP●～



1F